

2013.4月

品質月報

Monthly Quality Report

4号 INDEX

4号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
「リ30周年 東京ディズニーランドの
驚異的な集客力」

PAGE 5 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 6 ……今月の品質状況

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 7 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成18年7月1日
サンシングループ
代表 石井宏宗

石井宏宗



今月のトピックス

「30周年 東京ディズニーランドの驚異的な集客力」

今回は2013年4月16日の Sankei Biz の記事からです。

1983年4月15日にオープンした東京ディズニーランド(TDL、千葉県浦安市)が15日、開園30周年を迎え、園内で記念セレモニーが行われた。



運営するオリエンタルランドの加賀見俊夫会長は「ゲストの皆様には沢山のハピネスを感じてもらえるよう進化し続けます」とあいさつ。シンデレラ城前に勢ぞろいしたミッキーマウスなど約300のキャラクターやダンサーが軽快な音楽に合わせてダンスを披露。

詰めかけた大勢の入園者と30周年を祝った。

TDLと東京ディズニーシー(TDS)の2012年度の来園者数は計2750万人で過去最高を更新。

30周年の13年度はさらなる記録更新が期待される。オリエンタルランドの業績も好調で、本業の収益性を示す売上高営業利益率は15%以上を維持、他のテーマパークを圧倒する。

01年9月に約3300億円を投じてTDSを開業した。11年3月の東日本大震災発生時は、駐車場の一部などが液状化する被害を受け臨時休園に追い込まれたが、ファンは離れず、ライバルのテーマパークも「圧倒的な投資のタイミングが絶妙。入場料金を値上げしても集客できるブランド力の確立はまねできない」と舌を巻く。

ディズニーランドに学ぶ変化点管理

東日本大震災において、ディズニーランドでの地震発生時の対応のすばらしさに見習うべきポイントがあるように思われます。9割以上がアルバイトといわれるキャスト(従業員)の迅速かつ柔軟な対応については、驚くべき対応力といえます。

「全てはゲスト(お客さん)の安全と安心のため」というディズニー哲学が、キャストに浸透していると同時に、地震発生時の避難訓練を、年に180回も実施しているという驚きの事実があり、実に2日に1回程のペースで実施していることとなります。

まさに、変化点を予期した事前の心構えと訓練による賜物であり、そんな意識の高い対応を、製造業でも見習わなければなりません。

TDLのキャストへの教育方法については非常に評価が高く、企業としての理念が末端まで浸透すれば、どれだけ強く、そして、お客さんに愛される企業になるかがよくわかります。

(品質管理研究所)

通常作業とは異なる変化点でのルールづくりと事前教育が非常に大切であるということ学びました。

生産立上時には、このようなポイントには気付きにくいものですが、お客様の安全と安心を第一に考え、変化点となるポイントを抑え安定した品質のものをお客さんに提供していきたいと思えます。

(品証 林)



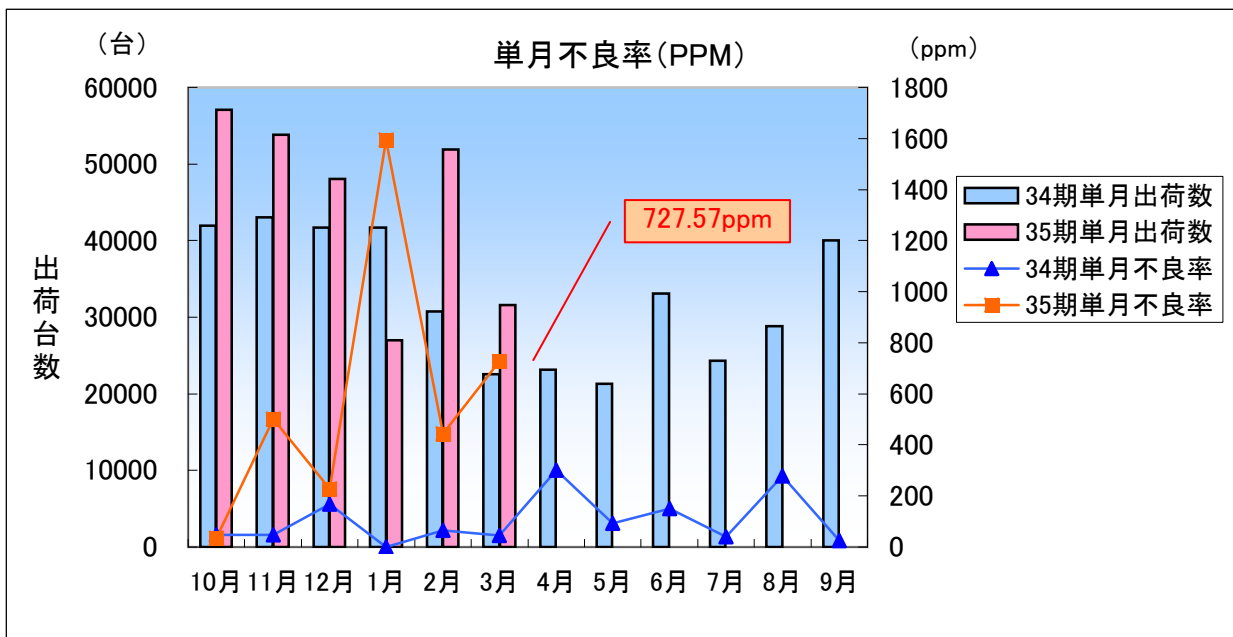
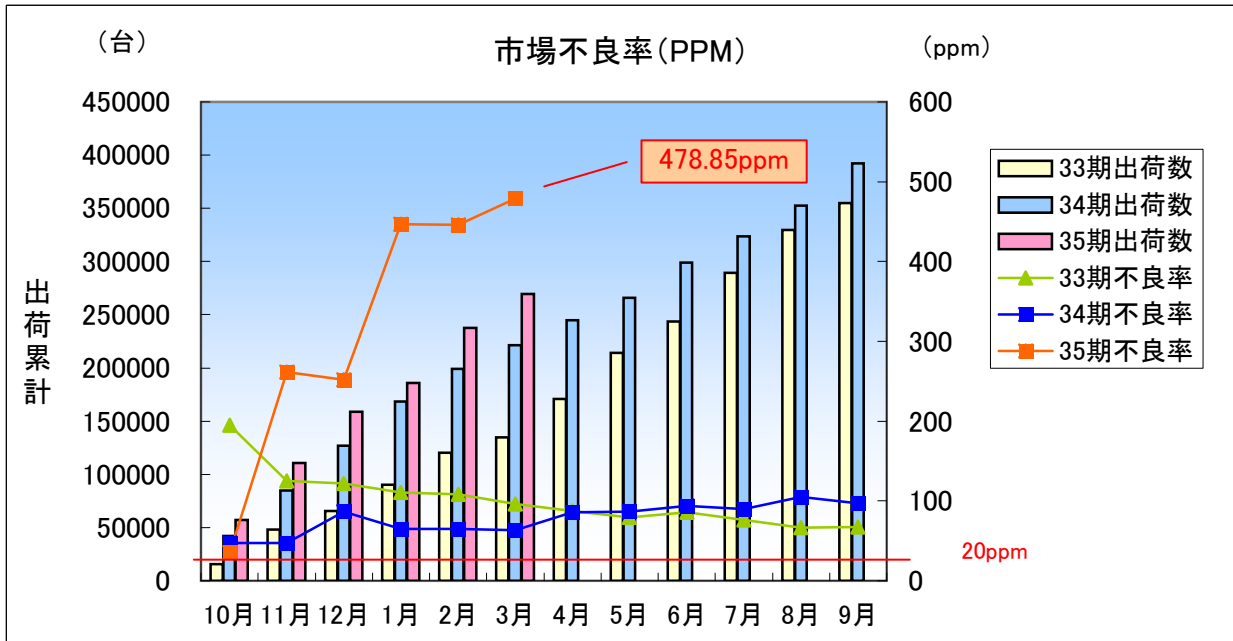
今月の品質状況

35期の旗印

納入不良率 目標……20ppm

35期の累計不良率は**478.85ppm**です。

MOSFETの同一部品不良が今期累計で82件発生していることから、不良率が異常値を示していますが、この不良を除いても累計不良率は 174.46ppm となっており、不良率の高い状況が続いています。この不良率を目標に近づける必要があります。



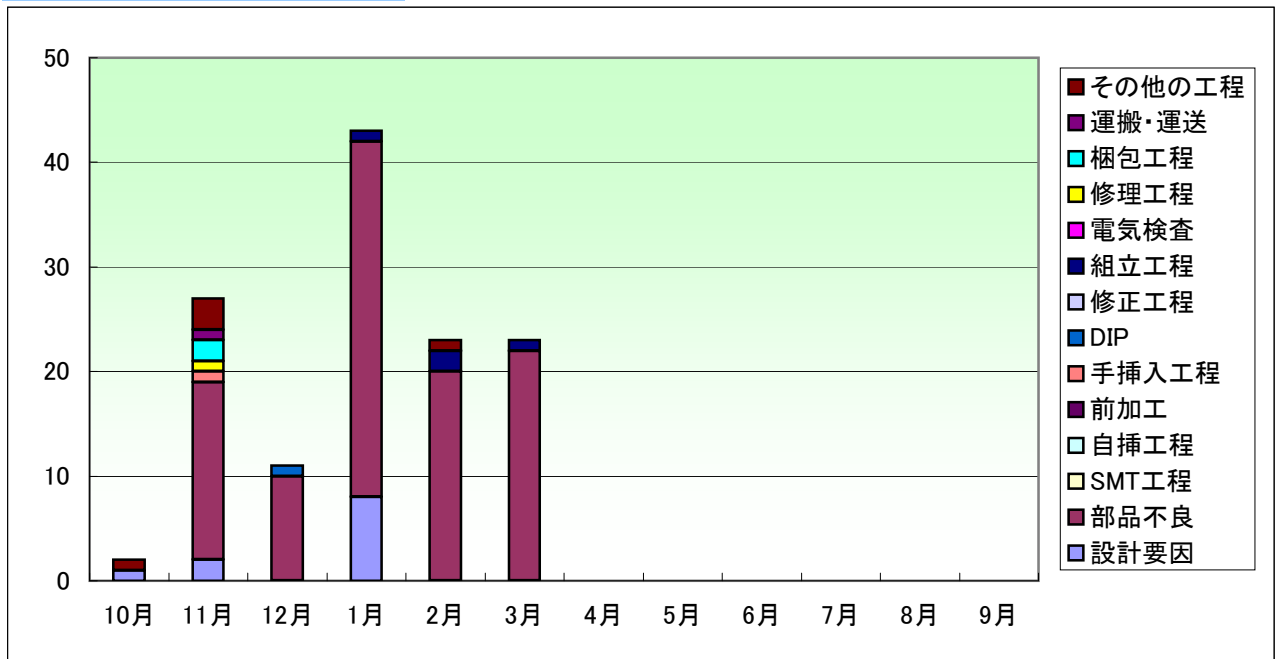
3月は単月不良発生率は784.15ppmです。

MOSFETの同一不良を除くと、174.46ppmとなりますが、目標値の20ppm以下にはまだまだ届いておらず、まず単月での目標を達成させたいところです。

品質状況詳細

原因別、並びに工程別市場不良発生状況

工程別不具合



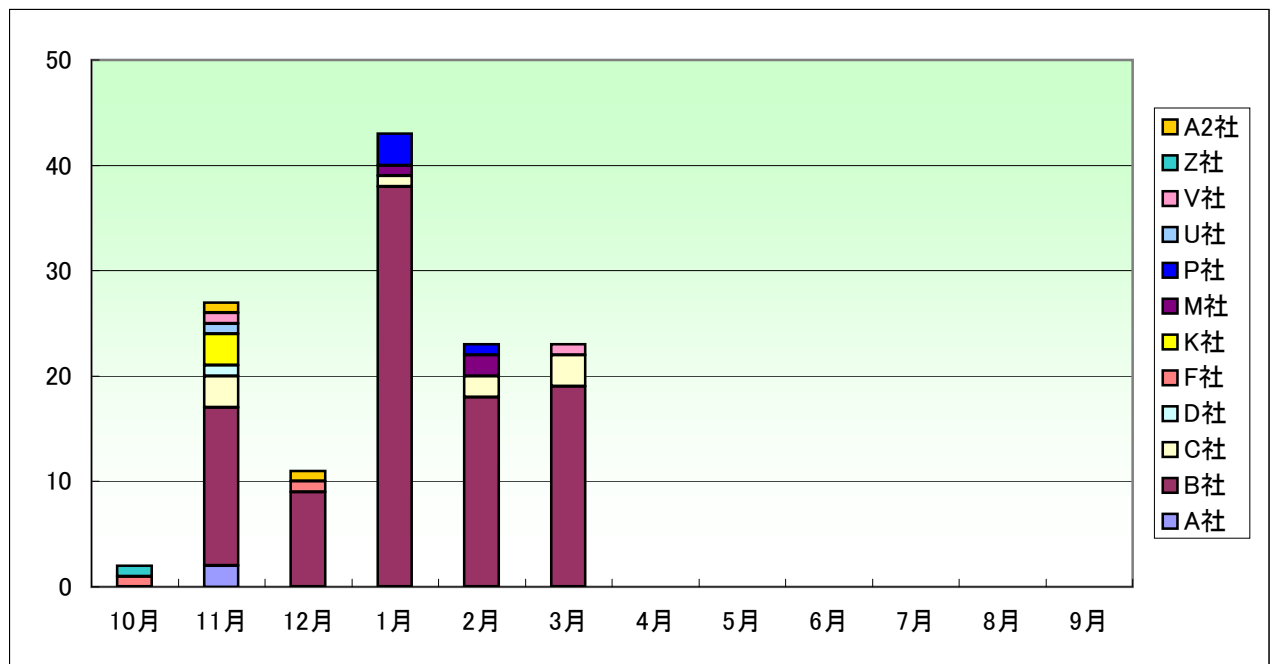
3月の工程別不具合

部品不良 20件、製造不良 1件、その他 2件 です。

今期の工程別不具合の累計は以下となります。

部品不良 101件、製造不良 10件、設計不良 11件、その他 7件

客先別不具合



客先別累計不良発生率

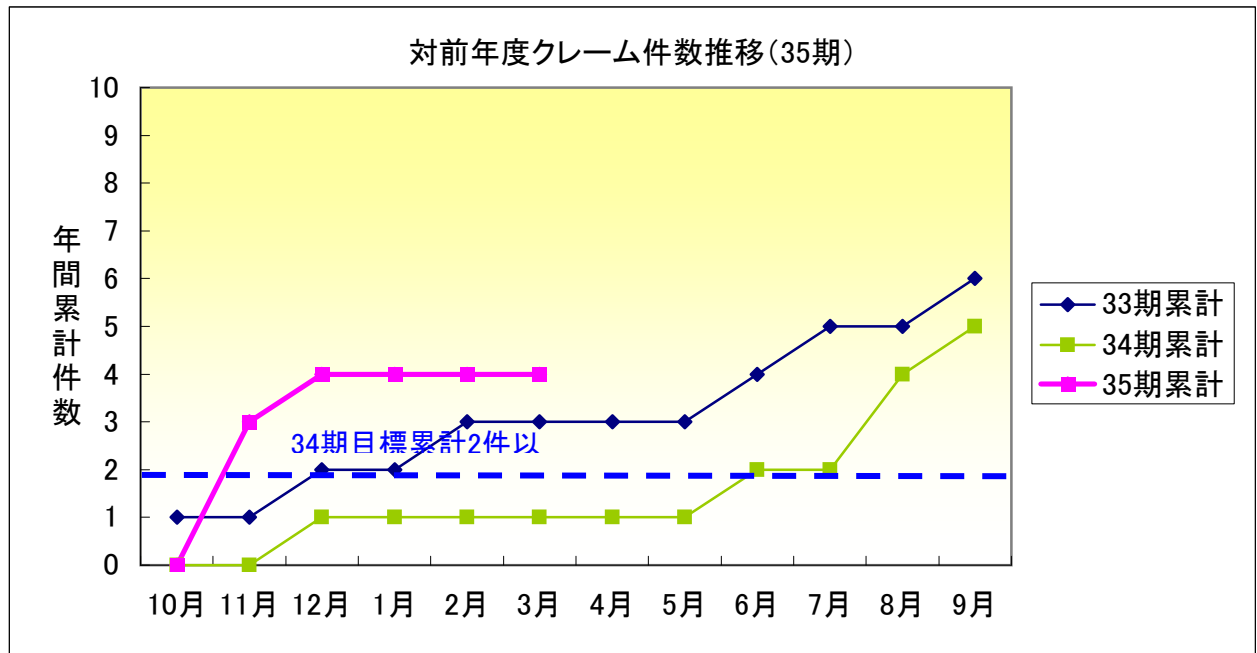
B社 99件/35,100台 (2821ppm) 82件がMOSFETの同一不良です。
全体の78%がB社の不良になります。

品質状況詳細

クレーム発生状況

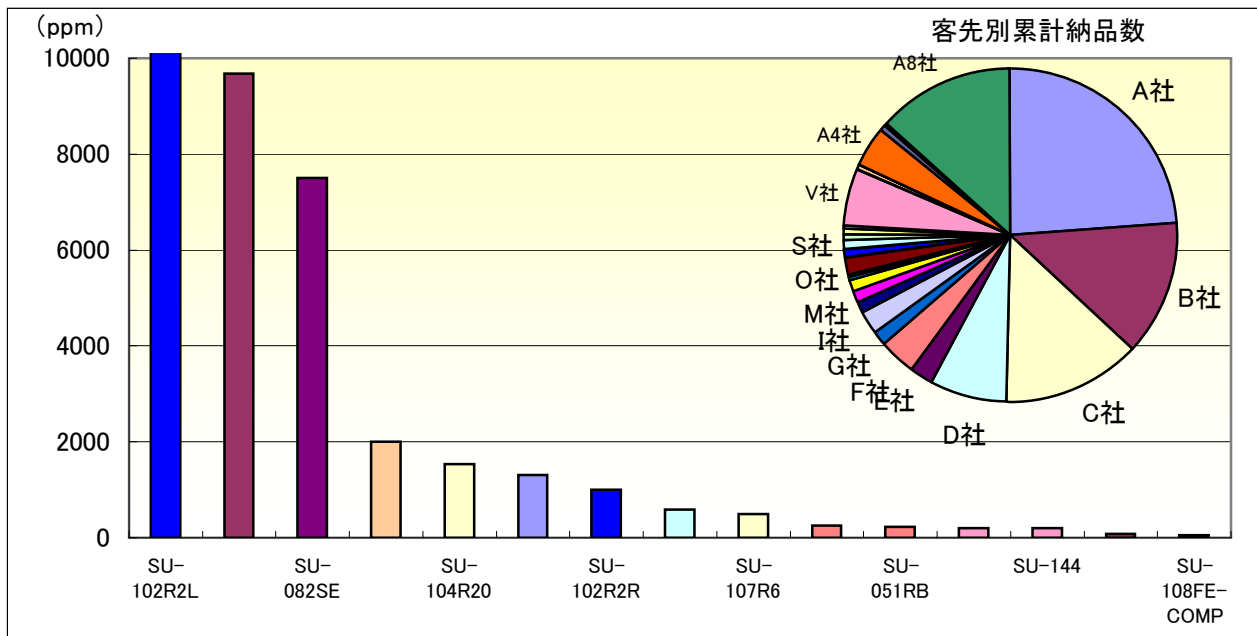
クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合



3月 新たなクレーム不良は発生していません。

機種別累計不良率



機種別累計不良率(不良率ワースト5)

順位	機種	客先	不良数/納品数	単機種不良率
①	→ SU-102R2L	(P社)	3件/150台	20000ppm
②	→ SU-133	(B社)	97件/10,020台	9681ppm
③	↑ SU-082SE	(M社)	3件/400台	7500ppm
④	↓ TDM001A	(D社)	1件/300台	3333ppm
⑤	→ SU-089R	(U社)	1件/500台	2000ppm